
はじめに

穏やかな青い海、大小の島々がある瀬戸内海や讃岐山脈から流れる中小の河川など、香川県は、身近に親しめる変化に富んだ水環境に恵まれています。一方で、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を利用しているため、川や海などが水質汚濁の影響を受けやすくなっています。

このことから県では、水環境の保全を図るため、平成21年度を目標年次とする「第6次水質総量削減計画」を策定するとともに、「香川県全県域生活排水処理構想」を見直し、工場・事業場の排水対策をはじめ、下水道や合併処理浄化槽等の生活排水処理施設の整備などの生活排水対策を推進しています。

また、県民の方が環境についての理解を深め、環境保全の大切さについて考えていただけるよう様々な施策を展開しています。

その中でも水生生物調査は、中学生、高校生等に参加していただき、調査を通じて身近な存在である川に対して関心を高めてもらうことを目的として昭和60年度から毎年実施しております。

この調査を機に、身近な水への理解をより一層深めていただき、私達を取り巻く水環境を守っていくためには、私たち1人ひとりが何をすべきかということを考えていただく良い機会になれば幸いと考えております。

最後に、この調査にご参加、ご協力いただいた皆様方に心からお礼申し上げます。

香川県環境森林部次長兼
環境管理課長 大森 利春
